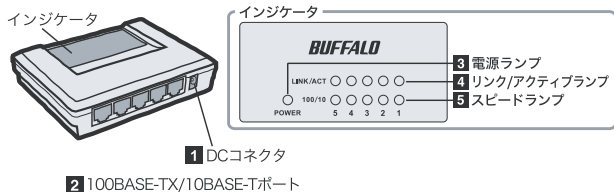
パッケージ内容

パッケージには、次の物が梱包されています。万一、不足している物がありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、製品の形状はイラストと異なる場合があります。

● LSW （本体）.. 1 台

1 DC コネクタ
付属のACアダプタを接続します。

2 100BASE-TX/10BASE-T ポート
100BASE-TX/10BASE-T の機器を接続するポートです。

3 電源ランプ
電源のON/OFF の状態を表示します。
点灯(緑)：電源ON 時

4 リンク／アクティブランプ
ポートのリンク状態と動作状態を表示します。
点灯(緑)：リンク時
点滅(緑)：データ送受信時

5 スピードランプ
伝送速度を表示します。
点灯(緑)：100M 動作時
消灯　　：10M 動作時

●ACアダプタ...1 個
●ゴム足...1 式
●安全にお使いいただくために必ずお守りください（保証書つき）..................1 枚

※保証書は、「安全にお使いいただくために必ずお守りください」に印刷されています。修理の際は、必要事項を記入のうえ切り取って、本製品と一緒にお送りください。
※別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

ネットワークに接続できないとき

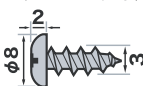
次のことを確認してください。
■本製品にACアダプタが接続されているか。また、ACアダプタがコンセントに接続されているか。
■UTPケーブルは正しく接続されているか。また、ケーブルは断線などしていないか。
■本製品に接続したハブやLANボードが自動認識されないときは、接続したハブやLANボードの通信モードが手動で100M半二重または10M半二重に設定されているか。【ハブやLANボードのマニュアルを参照】

設置

■設置上の注意

・ぐらつく台の上や傾いた場所など、不安定な場所には設置しないでください。
・本製品の上に、本製品や発熱する物を載せないでください。
・ケーブル類は足などが引っかからないように配線してください。
・他の機器や壁などで、本製品の通風口をふさがないでください。
・ACアダプタは必ず本製品に付属の物を使用してください。他の製品のACアダプタは仕様が異なるため、本製品の故障や火災の原因となるおそれがあります。

■壁に取り付ける場合

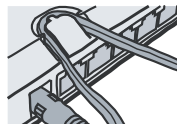
壁への取り付けは、下図のようなネジを使います。
壁にネジを固定して、本製品底面の取り付け穴を引っ掛けてください。

※本製品を梱包している箱の側面(内側)には、壁に固定するねじの間隔の目安が印刷されています。

■床やスチール製デスクの側面などに設置する場合

床に設置する場合は、本製品底面の丸い部分に、付属のゴム足を貼り付けて設置してください。
また、本製品の底面には磁石がついていますので、スチール製デスクの側面など金属部分に貼り付けられます。

本製品底面の磁石にフロッピーディスクや磁気カードなどの磁気記憶媒体を近づけないでください。データが消失・破損することがあります。

■ACアダプタの接続

本製品の底面には、ACアダプタ抜け防止の機構があります。下図のようにACアダプタのコードを爪に差し込みます。

製品仕様

メモ 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(buffalo.jp)を参照してください。

規格	IEEE802.3u(100BASE-TX) IEEE802.3(10BASE-T)
伝送速度	100Mbps(100BASE-TX) 10Mbps(10BASE-T)
スイッチング方式	ストア＆フォワード
最大フォワーディング転送	148810パケット／秒(100BASE-TX) 14881パケット／秒(10BASE-T)
最大フィルタリング速度	148810パケット／秒(100BASE-TX) 14881パケット／秒(10BASE-T)
MACアドレス	1024（セルフラーニング）
バッファメモリ	64KB
フローコントロール	IEEE802.3x（全二重動作時） バックプレッシャー（半二重動作時）
取得規格	VCCI Class B

コネクタ	RJ-45モジュラコネクタ（シールドタイプ）
ポート	100BASE-TX/10BASE-T兼用ポート （全ポートAUTO-MDIX対応）
適合ケーブル(*1)(*2)	100BASE-TX:カテゴリ5UTPケーブル(*3) 10BASE-T:カテゴリ3以上のUTPケーブル
ハブと端末間距離	最大100m
消費電力	最大4.5W
消費電流	最大100mA
動作環境	動作温度：0～45℃ 動作湿度：10～85%（無結露）
外形寸法	112(W)×84(D)×29(H)mm
重量	150g（本体のみ）

*1:本製品は、ケーブルの種類（ストレートケーブル/クロスケーブル）を、自動的に判別しますので、どちらのケーブルでも問題無く使用できます。
*2:自作ケーブルの使用は、ネットワークが正常につながらない原因となります。市販のケーブルをご使用ください。
*3:100Mでネットワークを構築するときは、必ずカテゴリ5のケーブル(弊社製ETPケーブルなど)をお使いください。